

高齢がん患者・家族の 意思決定支援

がんと診断されてから、治療や療養にいたるまで、患者さんは様々な意思決定の必要に迫られます。

一般的に高齢者は、身体機能だけでなく認知機能も低下する傾向にあり、医療者の説明を理解したり、必要な情報を入手しづらいことから、意思決定に困難をきたす場合が少なくありません。特に、単身独居や高齢夫婦二人暮らしで、周囲の支援が得られにくい高齢がん患者さんの不安は大きいものがあると思われれます。

このような状況にある高齢がん患者さんやそのご家族に対し、がんと関わってきた自身の経験や知識を生かして、ピアサポーターはどのような支援ができるのでしょうか。

「地域連携」をキーワードに、高齢がん患者さんの「意思決定支援」に焦点をあてて考えました。